



(うこん たかし)

## 右近 崇

所 属 三菱UFJリサーチ＆  
コンサルティング株式会社  
政策研究事業本部

資 格 技術士一次試験合格

### 対象インフラ

道路

### 専門分野

交通インフラの経済分析

### 対応可能地域

主として中部地域（全国也要相談）

### 連絡先

takashi.ukon@murc.jp

※メール送付の際は「Σ」を「@」に変えて送信ください

### 相談方法

オンライン、対面、電話、メール

## ◆ 経歴・各種委員・講師経験など

2004年3月 鳥取大学大学院工学研究科社会開発システム工学専攻修了

2004年4月 株式会社UFJ総合研究所 入社

2006年1月 三菱UFJリサーチ＆コンサルティング株式会社(合併により社名変更)

※外部講師等経験

2020年1月17日 基調講演・パネルディスカッションコーディネーター（パネラー：県知事、企業代表者、商工会議所会頭）、「新名神開通の経済効果セミナー」（県・金融機関）

2016年8月29日 セミナー講演「新東名高速道路開通による経済効果」（商工会議所）

## ◆ 分析支援可能な知識・経験

### 【主な分析実績】

- 道路整備ストック効果分析（東海環状自動車道、国道23号名豊道路、新東名高速道路ほか）
- 道路整備による経済波及効果分析[経済均衡モデル適用]（東海環状自動車道、国道23号名豊道路、新名神高速道路、名古屋環状2号線ほか）
- 道路整備による交流人口変化に伴う観光消費の経済波及効果分析

### 【主な分析スキル】

- 空間的応用一般均衡モデルなど経済均衡モデル分析（主にRAEM-Lightモデル）
- 産業連関分析、地域間産業連関分析、ヘドニック分析、重力モデルほか
- アンケート調査、ヒアリング調査、統計データ分析

### 【これまでの経験をふまえたメッセージ】

- 空間的応用一般均衡モデル等の政策評価ツールや各種定量的な分析手法を用いて、交通インフラ整備が地域・産業に及ぼす波及効果・影響の分析を専門分野としております。
- インフラ整備の効果を示す定量的なアウトプットは、政策形成において有効な材料の一つとなります。しかしながら、万能なアプローチが存在するわけではなく、分析手法の選定や結果の解釈には慎重さが求められます。
- そのため、定量的な分析に加えて、地域の将来ビジョンや発展戦略を踏まえ、インフラに期待する役割や政策目標との整合性を意識しながら、地域に発揮された効果、影響を多面的に捉えることが重要であると認識しています。
- 地域固有の課題や可能性に寄り添いながら、より実効性の高い政策支援に貢献したいと考えています。

経歴および分析支援可能な知識・経験

## ◆ 業務・学術論文実績

## 【業務実績】

- ・道路整備によるストック効果検討業務  
平成30年度名古屋高速道路のストック効果に係る調査・分析業務委託[2018年度]（名古屋高速道路公社）※経済モデルを用いた分析の検討を含む  
平成27年度岐阜国道整備効果検討業務[2015年度]（国土交通省中部地方整備局[岐阜国道事務所]）
  - ・経済モデルを用いた道路整備効果分析業務  
令和5年度名豊道路経済波及効果検討業務[2023年度]（国土交通省中部地方整備局[名四国道事務所]）  
道路橋梁改築工事の内 広域道路網整備方針検討業務委託[2017年度]（愛知県）ほか
  - ・多面的な道路整備効果把握業務（社会的共通資本関連）  
令和4年度本四高速道路の整備効果に係る多面的な効果把握業務[2022年度]（本州四国連絡高速道路株式会社）ほか

## 【学術論文実績(査読付き)】

- ・小池淳司・右近崇 高速道路料金割引施策による経済効果の空間的帰着分析、季刊「運輸政策研究」61号 pp.41-52、2013年
  - ・小池淳司・右近崇 新潟県中越地震における磐越道・上信越道のリダンダンシー効果、高速道路と自動車 Vol.49 No.7 pp.17-26、2006年7月号(第27回2007年5月29日『道路と交通論文賞』経済社会部門受賞)
  - ・小池淳司・右近崇、宮下光宏、佐藤尚 将来社会経済シナリオ下でのSCGEモデルによる道路投資評価 土木計画学研究・論文集 Vol.23 pp.59-66、2006年
  - ・小池淳司・佐藤啓輔・右近崇 地域産業政策評価のための応用一般均衡分析フレーム 土木計画学研究・論文集 Vol.21 pp.217-224、2004年

【寄稿(査読なし)】

- ・右近崇 都市圏環状道路が牽引する名古屋都市圏の発展 高速道路と自動車 Vol.62 No.6 (pp.13~17)、2019年6月
  - ・右近崇 名古屋環状2号線が牽引する都市圏の経済発展～2020年度の全線開通を見据えて～ 建設マネジメント技術 No.475、2017年12月
  - ・加藤義人・右近崇「東海北陸自動車道全線開通によるインパクト」高速道路と自動車 Vol.51 No.10(pp.42~48)、2008年10月

## ◆ 取組事例

## ■名古屋高速道路の整備効果

(汎用型空間的応用一般均衡モデル(RAEM-Light)により算出)



中京都市圏：概ね東海環状自動車道の沿線及びその内側、知多半島の自治体を含めた地域（図の緑色着色部注）生産額変化が50億円増／年以上の自治体について表記

出典:名古屋高速道路公社ホームページ>整備効果

## ■東海環状自動車道に関するストック効果資料集



出典:岐阜県ホームページ>東海環状自動車道(東回り)開通10周年記念パンフレットより一部掲載

## ■名豊道路の整備効果

(RAEM-Lightにより算出)

### ＜生産額押し上げ効果の累積額と開通延長の推移＞



### ＜生産額押し上げ効果の累積額と産業構成＞



出典:三菱UFJリサーチ＆コンサルティング株式会社>  
コラム>事業着手から半世紀 名豊道路の全線開通が間近に迫る(2024/12/26発表)